

1 委員長挨拶

◆はじめに

皆さま初めまして。第 52 回白門祭実行委員会委員長の鈴木和樹です。この『参加者必携本』には、白門祭での企画実施にあたり必要な手続きや白門祭に関する注意事項が記載されています。白門祭終了時まで紛失されないようお気を付けください。

当冊子をご覧の皆さまは、企画を実施される団体の方々かと思われまので、企画を行われる前にご理解いただきたい白門祭の理念や関係事項についてご紹介させていただきます。

◆白門祭の理念

白門祭は、前夜祭を含む 5 日間で行われ、総来場者数 5 万人を超える関東最大規模を誇る中央大学の学園祭です。学園祭は学生が主体となって行うため、「中央大学生の自主性」という考えのもとに以下の 2 つの理念を掲げています。

①自治・文化活動発露の場

かつて中央大学では学生の表現活動の自由が大きく規制されていた時代がありました。このような背景から、白門祭は学生が普段の活動の成果を自由に表現できる「文化活動発露の場」として存在しています。表現の内容や方法に関しても学生の自由な発想に基づき実施されることを推奨しています。しかしながら自由には責任が伴います。白門祭の企画は、果たしうる責任の中で行われなければなりません。そのため当委員会では、学生の文化活動が「自治」の範囲内であることを前提としています。

②地域に根ざした白門祭

私たち中央大学生は、日ごろより大学周辺地域の方々のご協力により学生生活を送ることができています。白門祭は地域の方々への恩返しをする場でもあり、また、そのようなの方々への還元活動やより親密な関係を形成することを目標としています。

上記の理念から、当委員会は学生の自由な発想に基づく企画を保障しており、学生の自主性を尊重するために、どの企画も全面的に保障する「企画全面保障」の立場をとっています。ただし、企画の保障を受けるためには、当委員会の規定に従って説明会に参加し書類を提出していただき、参加団体総会に出席していただく必要があります。また、例外的に実施が認められない企画については p.8「実施に制限がある企画」をご参照ください。

◆終わりに

白門祭は今年で 52 回目を迎えます。このような半世紀にわたる長い歴史を築くことができましたのも、皆さまが日々培ってきた文化活動の成果を白門祭で最大限披露していただいているおかげです。また、ご存じない方もいらっしゃると思いますが、白門祭実行委員会という組織は、全中央大学生によって構成されています。白門祭実行委員会の一員として白門祭を作り上げている意識を持ちつつ、これからも続く白門祭を大いに盛り上げていただければと思います。

最後になりますが、参加団体の皆さまをはじめとした白門祭に関わっていただけるすべての方々へ、この場を借りて厚く御礼申し上げますとともに、私からの挨拶とさせていただきます。

中央大学白門祭実行委員会
委員長 鈴木 和樹